

女子決勝の中国戦でスパイクを放つ小泉(左)。中央は田中・ビーチバレー会場(共同)



田中・小泉は「銀」



▽女子決勝

張 晨	152119	1	田中
希 2	131121	1	小泉
(中国)			榮子
			(ラリ)

女子決勝を行い、田中・小泉栄子組(ラリ)は中国の強豪、薛晨、張希組に1-2で逆転負けし、銀メダルに終わった。

日本ペアは第1セットを21-19で先取したが、第2セットは11-21で落とした。最後は粘ったものの13-15だった。

日本男子4位



8位決定予備戦に回ったカザフスタンと対戦する。

男子の準々決勝を行い、日本はサウジアラビアに敗れて13日の5-11で韓国に敗れた。

最良コンビ 五輪照準

中国の薛にフェイントを決められた。第3セット、13-14で迎えた最後の攻めを日本の田中・小泉組は防げなかった。予選リーグから勝ち続け、5試合目で喫した敗戦に、田中は「勝てるチャンスがあったのに」と唇をかんだ。

相手の薛・張希組は、ビーチバレーのワールドツアーで今年3位。このペアに日本の2人ペアを組んで2年目。33歳の小泉は、31歳の田中と組むのが4人目になる。バレーの強豪、イトーヨーカ堂などに在籍した後、ビーチバレーに転向して4年目だが、ずっとコンビに逃げ

られてきた。小泉は「私が下手でふられてきた。みんな2、3カ月で逃げた」と笑いながら振り返る。田中は日立、NECを経て、転向3年目になる。小泉にとって、やっと息の合う相棒に巡り合えた。

照準は北京五輪。田中は「自分たちとそれほど差はない」。手応えを感じられる銀メダルになった。(田中浩一郎)